

HIMAWARISHIKA REPORT 2025



YUSENKAI
MEDICAL
CORPORATION

はじめに

こんにちは、院長の岡本です。

このたび医療法人社団湧泉会では、昨年1年間の取り組みをまとめた『ひまわり歯科アニュアルレポート2025』を作成いたしました。

近年、いわゆる「2040年問題」として、歯科医師の引退増加や高齢者人口のピークに伴い、歯科医療の提供体制が大きく変化していくことが指摘されています。特に課題となっているのが、歯科医師の地域偏在です。現在の歯科診療所の多くは高齢の歯科医師によって支えられており、今後10年、20年の間に閉院が増加することが見込まれています。一方で新たに歯科医師となる人数は制限される傾向にあり、年間約2000人とどまっています。さらに40代以下の歯科医師の約半数を占める女性歯科医師を中心に、都市部での勤務や開業を希望する傾向が強く、地域医療を支える人材の確保は容易ではありません。地方での歯科医療の担い手不足はすでに顕在化しつつあり、厚生労働省による「2022年度無医地区および無歯科医地区等調査」では、広島県は北海道に次いで全国で2番目に多い状況となっています。

また、現代社会では疾病構造も大きく変化しています。高齢化に伴い、基礎疾患を抱えたまま歯科治療を受ける方が増え、より高度な全身管理や専門的配慮が求められるようになりました。こうしたニーズに応えるためには、従来の「虫歯を治す」「入れ歯を作る」といった機能回復にとどまらず、摂食嚥下機能の維持・回復や口腔管理を通じた全身の健康への寄与など、より包括的な歯科医療の提供が必要となっています。

このような背景のもと、日本歯科医学会では2022年に「地域支援型多機能歯科診療所」、いわゆる「1.5次歯科診療所」という新たな概念が提唱され、新歯科医療提供検討委員会（現新歯科医療提供推進委員会）も発足しています。ひまわり歯科はこの考え方にに基づき、地域の歯科医療を支える拠点としての役割を果たすべく体制整備を

進めてきました。一般診療所と病院歯科・大学病院歯科との中間的な立場として、地域の先生方と連携しながら日常診療を補完し、必要に応じて高度医療機関へつなぐ「橋渡し」の機能を担っています。

また、当院は専門性の高い歯科医師や女性歯科医師、シニア歯科医師が活躍できる場であると同時に、若手歯科医師の研修・育成の場としての役割も重視しています。これまで主に大学が中心となって担ってきた研修歯科医師の教育は、大学と地域の診療所が連携して支えていく流れが広がりつつあります。当院にも山陰や九州、四国など地方出身の歯科医師が多く在籍しており、それぞれが将来地域医療に貢献する志を持って研鑽を積んでいます。

歯科医療を取り巻く環境は厳しさを増していますが、だからこそ地域の医療機関同士が連携し、限られた医療資源を有効に活用していくことが重要です。ひまわり歯科は、地域の皆様や医療機関の方々にとって「相談できる存在」でありたいと考えています。

まだまだ発展途上ではありますが、本レポートを通じて私たちの取り組みをご理解いただき、ご意見を頂戴しながら、より地域に貢献できる歯科医療を目指してまいります。

院長・理事長

岡本 佳明

YOSHIAKI OKAMOTO



目次

沿革

OUR HISTORY

- 3 | 医療法人社団湧泉会ひまわり歯科の25年



行動規範と事業計画

PHILOSOPHY

- 5 | 基本理念
- 5 | 基本的価値観/行動指針
- 5 | 存在意義



組織と体制

STRUCTURE

- 6 | 診療拠点
- 6 | 従業員数
- 8 | 管理患者数の推移



地域連携

LOCAL COOPERATION

- 9 | 地域連携
- 12 | 学会発表・講演活動



活動報告

ACTIVITY REPORT

- 13 | 「ひまわり歯科の臨床研修教育と地域への貢献」
- 14 | 「歯科医療提供体制に関する検討会への参考人としての参加」
- 15 | 「邑南町での取り組み」
- 16 | 「訪問診療について」



- 17 | ひまわり歯科の「人」



OUR HISTORY 沿革

医療法人社団湧泉会ひまわり歯科の25年

1999-

1999年1月11日開業

- 🦷 インプラント治療開始
- 🦷 女性の働きやすい環境整備
- 🦷 歯科矯正治療開始
- 🦷 静脈内鎮静下歯科治療開始
- 🦷 ISO9001取得
- 🦷 保育士による託児開始

2010-

- 🦷 医療法人化(医療法人社団湧泉会)
- 🦷 訪問歯科診療開始
- 🦷 ひまわり歯科現在地へ移転
- 🦷 院内託児所「COCOランド」運営開始
- 🦷 企業風土…「ひまわり村」という助け合いの風土を育成
- 🦷 新館増築
(障がい者歯科・小児歯科・口腔外科・矯正歯科などを充実)
- 🦷 3つのコンセプト ①教育②地域③働き方
- 🦷 日本障害者歯科学会臨床経験施設
- 🦷 厚生労働省指定歯科医師臨床研修施設(単独型・管理型)
- 🦷 医療的ケア児訪問診療開始
- 🦷 暮らしの保健室すまいる
- 🦷 全身麻酔下歯科治療開始
- 🦷 研修医用社宅完成
- 🦷 【4STORY 7GOAL's】【3つの医療目標】
- 🦷 地域支援型多機能歯科診療所(いわゆる1.5次歯科診療所)



2020-

- 🦷 デジタル歯科診療の進化
- 🦷 人生100年対応歯科診療所を目指す
- 🦷 「ひまわりカフェ×タニタカフェ」運営開始
- 🦷 認定栄養ケア・ステーション
- 🦷 次世代の歯科医療従事者の育成機関機能の充実化
- 🦷 歯科検査部門運営開始
- 🦷 「食べれる外来」診療開始
- 🦷 山間部・離島診療サポート事業開始
- 🦷 イノベーション事業
- 🦷 一般企業と食事用マスクの共同開発販売
(コロナ感染予防事業)
- 🦷 NPO団体「日本こうくう医療協会」を立ち上げ
- 🦷 日本障害者歯科学会専門医研修施設
- 🦷 日本歯科麻酔学会準研修機関
- 🦷 医療法人社団湧泉会ひまわり歯科二十五周年祝賀会開催
- 🦷 歯科医院視察ツアー2024<単院 西日本最大級の医療法人>
株式会社船井総合研究所主催
- 🦷 広島たいよう歯科衛生士専門学校 設立

2030-

過去から現在そして未来へ、
私たちは患者様のことを第一に考え、
従業員やその家族と
仲間たちの幸せを守る
医院風土を育み社会に貢献し
必要とされ続けることに
チャレンジし続けます。

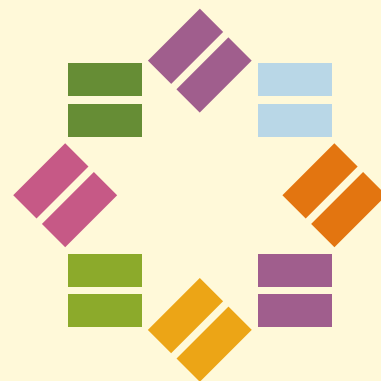


PHILOSOPHY

行動規範と事業計画

基本理念

お口の元気から始まる、
一生の健康と笑顔のお手伝いをいたします。



基本的価値観／行動指針

1

自分が患者様だったら、
ということ
想像して行動します。

2

地域住民の方々の
歯科医療知識の
向上を目指します。

3

限られた資源と時間の
中で最高の医療サービスを
心がけます。

存在意義

① 教育機関



次世代の医療人材の教育、育成を行い
「人」が成長し「人材」を輩出する機関を
目指します。

② 社会資本



「笑顔100年つながり愛」をコンセプトに、
単なる医療行為に留まらず、人生と健康に
深く関わりながら、人々のつながりと共に
笑顔を創出する組織を構築します。

③ 組織風土



女性をはじめ、多様な背景を持つ人々が、仕事と
生活、そして人生を共有するための空間を提供
します。新しい時代の職場環境は、「長屋文化」や
「ひまわり村」のような生活共同体の精神を持ち
込み、独自の組織風土を築くことを目指します。

STRUCTURE

組織と体制

診療拠点

♥ 本館・新館



♥ ひまわりカフェ×タニタカフェ



♥ 広島たいよう歯科衛生士専門学校



従業員数

歯科医師 **45**名 

歯科衛生士 **36**名 



歯科助手 **1**名 

受付 **6**名 

歯科技工士 **3**名 


保育士 **9**名 

管理栄養士 **9**名 

言語聴覚士 **1**名 

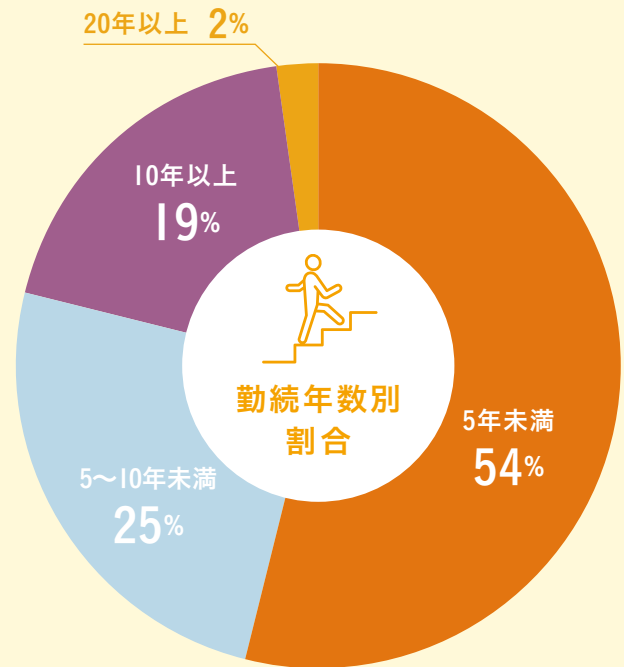
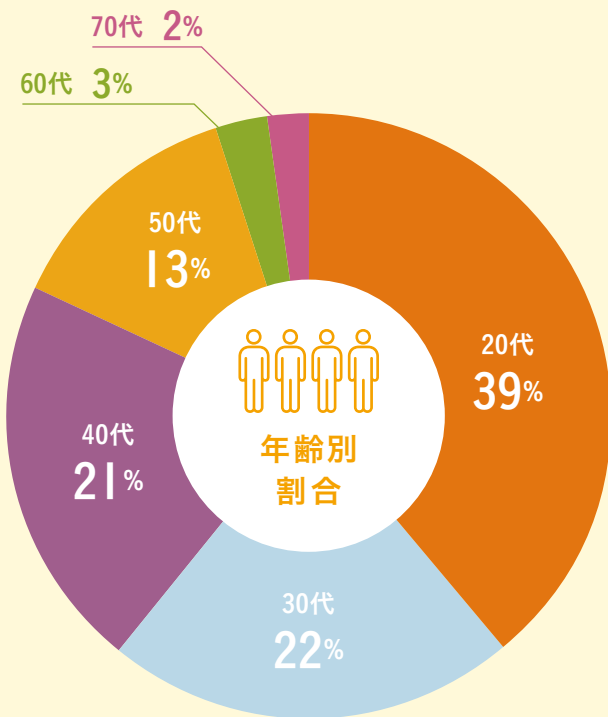
医師(麻酔専門医) **1**名 

看護師 **4**名 

メンタル
コンサルタント **1**名 

事務 **12**名 

清掃スタッフ **4**名 



認定医

22名

- | | | | |
|---------------------|---------|---------------|-------------------------|
| 🦷 日本障害者歯科学会 | 認定医 14名 | 🦷 口腔漢方認定医 | 認定医 1名 |
| 🦷 日本歯科麻酔学会 | 認定医 3名 | 🦷 日本がん治療認定医機構 | がん治療認定医 1名 |
| 🦷 日本老年歯科医学会 | 認定医 3名 | 🦷 ICD制度協議会 | インフェクションコントロールドクター認定 1名 |
| 🦷 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 | 認定士 5名 | 🦷 日本外傷歯学会 | 認定医 1名 |
| 🦷 ドライマウス研究会 | 認定医 1名 | 🦷 日本顕微鏡歯科学会 | 認定医 1名 |
| 🦷 日本口腔検査学会 | 認定医 1名 | 🦷 日本蘇生学会 | 認定医 1名 |

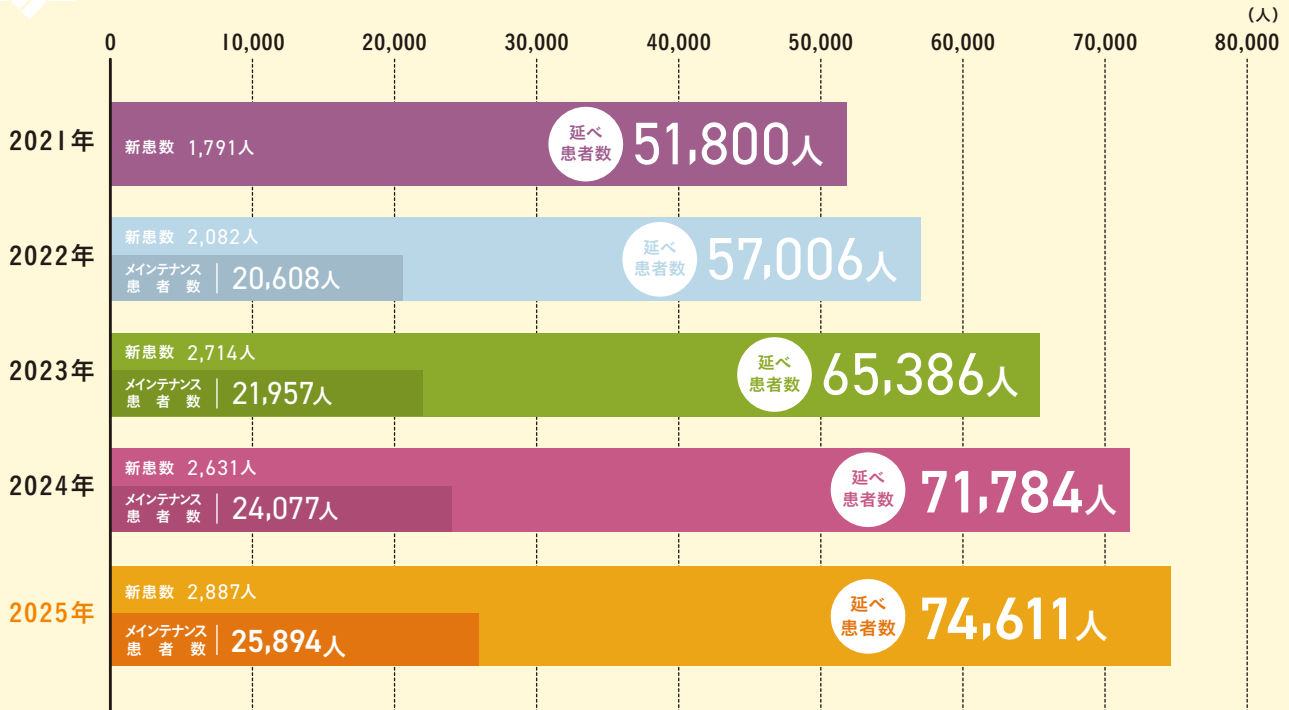


専門医

11名


- | | | | |
|-------------|-------------------|----------------|-----------------|
| 🦷 日本歯科麻酔学会 | 専門医 3名 | 🦷 日本歯周病学会 | 専門医 1名 |
| 🦷 日本障害者歯科学会 | 専門医・認定医指導医・代議員 1名 | 🦷 日本口腔インプラント学会 | 専門医・代議員 1名 |
| | 指導医 2名 | 🦷 日本口腔顔面痛学会 | 専門医 1名 |
| 🦷 日本口腔外科学会 | 専門医・指導医 1名 | 🦷 日本歯内療法学会 | 専門医 1名 |
| 🦷 日本小児歯科学会 | 認定専門指導医 1名 | 🦷 日本麻酔科学会 | 認定麻酔科専門医・指導医 1名 |

管理患者数の推移




 医科歯科連携人数
999人


診療情報提供料！算定人数 **186人**
 診療情報連携共有料算定人数 **188人**
 口腔機能管理料算定人数 **625人**


 全身麻酔
 静脈内鎮静
 実施回数 **120回**


 障がい者・有病者
 治療困難
 患者数 **2,254人**


 検査部による
 検査実施件数

口腔機能検査	カンジダ検査	細胞診	唾液検査(シルハ)
485件	28件	25件	170件


 管理栄養士による
 栄養相談実施件数 **329件**


 言語療法
 実施件数

初回相談実施数	訓練の実施数
23件	140件


 摂食嚥下内視鏡検査数 **21回**
 摂食機能療法 **137人 627回**

LOCAL COOPERATION 地域連携

地域連携

医 科

病院

安芸市民病院
愛媛県立中央病院
太田川病院
かしわ記念病院
呉共済病院
県立広島病院
国家公務員共済組合連合会 広島記念病院
埼玉病院
JR広島病院
JA広島総合病院
市立三次中央病院
済生会広島病院
たかの橋中央病院
土谷総合病院
長崎病院
比治山病院
広島厚生病院
広島シーサイド病院
広島市立北部医療センター安佐市民病院
広島市立広島市民病院
広島赤十字・原爆病院
広島中央リハビリテーション病院
広島はくしま病院
ヒロシマ平松病院
福山市民病院

松石病院
マツダ病院
山本整形外科病院
吉島病院

診療所

あいクリニック
あおさきこども心療所
秋本クリニック
入澤クリニック
岡村医院
おおや耳鼻咽喉科
かいたいちウィメンズクリニック
海田心療内科メンタルクリニック
海田よつ葉クリニック
金谷医院
金谷整形外科クリニック
川上内科クリニック
かわもと皮ふ科
かわはらこどもクリニック
菊川皮ふ科医院
きむらクリニック
くるしま内科循環器クリニック
幸田内科医院
こころのクリニックひまわり
こさか内科
小坂内科医院
しらね泌尿器科クリニック

すぎた皮膚科アレルギー科
杉本クリニック
瀬野記念病院
高橋内科呼吸器クリニック
たにクリニック
ちえ内科クリニック
津田産婦人科クリニック
津丸内科医院
寺沢耳鼻咽喉科医院
虹の子どもクリニック
根石医院
野島内科医院
原小児科
はるた呼吸器クリニック
ひのでクリニック
深坂内科循環器科医院
細田小児科医院
ほほえみ診療所
ほーむけあクリニック
ますだ小児科
まんだに心療内科クリニック
みぞて眼科
向井内科・脳神経内科
森原内科胃腸科
山野上内科クリニック
よしだ内科呼吸器科
陸上自衛隊海田市駐屯地医務室

歯科診療所

あいあい歯科クリニック
有田歯科医院
イチマ歯科医院
Wellかむ矯正歯科
おがた小児歯科医院
かいた駅前歯科
香川矯正歯科クリニック
コアラ小児歯科
GOSI矯正歯科
児玉歯科医院
こにし歯科医院

ダイヤモンドシティ歯科
田部矯正歯科
タマガワ矯正歯科クリニック
ティースマイル矯正歯科
寺谷歯科医院
とまと歯科クリニック
長畑歯科医院
にしはら歯科
パセーラデンタルクリニック
はなの歯科クリニック
広島RS矯正歯科クリニック
広島市医師会千田町夜間急病センター
広島市立舟入市民病院

広島タワー歯科・矯正歯科
ヘルスケア歯科クリニック
まえはら歯科クリニック
マコト矯正歯科クリニック
みちる矯正歯科
ミモザ歯科
宮本歯科医院
やまだ矯正歯科クリニック
やまなか歯科医院
やまの矯正歯科クリニック
吉岡デンタルキューア
ローズクリニック

居宅介護支援事業所

あいおい居宅

あいりは在宅相談室広島安芸

あいりは在宅相談室広島南

あき居宅介護支援事業所

安芸地区医師会居宅介護支援事業所

安芸地区医師会熊野町居宅介護支援事業所

安芸地区医師会府中町居宅介護支援事業所

秋本クリニック居宅介護支援事業所

秋本クリニック居宅介護支援事業所ひろしま駅北

あけぼの寿老園居宅介護支援事業所

いでしたケアプランセンター広島南

医療法人信愛会 信愛会居宅介護支援事業所

宇品くにくさ居宅介護支援事業所

おおうち病院居宅介護支援事業所

オフィスたいよう広島中央

オフィスたいよう広島西

介護相談室 かがやき

介護相談室 かがやき南

介護相談室 小さなかがやき段原

カイゴの窓口東

かしのき会居宅介護支援事業所

かなえプランニングサポート

神田山長生園 介護プランニング

きありの居宅介護支援事業所

居宅介護支援事業所蒼

居宅介護支援事業所あおいくま

居宅介護支援事業所あきもと

居宅介護支援事業所エバグリーン

居宅介護支援事業所キララ千田町

居宅介護支援事業所ケアセンター宇品

居宅介護支援事業所光清苑

居宅介護支援事業所こごもり

居宅介護支援事業所さいせい

居宅介護支援事業所しらゆり

居宅介護支援事業所すずらん

居宅介護支援事業所チェリーゴード石井城

居宅介護支援事業所中野

居宅介護支援事業所ア

居宅介護支援事業所羽ばたき

居宅介護支援事業所ひうな荘

居宅介護支援事業所ビジデ

居宅介護支援事業所ピース

居宅介護支援事業所ふくだの里

居宅介護支援事業所府中みどり園

居宅介護支援事業所筆の都

居宅介護支援事業所やすらぎ

居宅介護支援センター広島八景園

ぐっとほーむ居宅介護支援事業所

くにくさ居宅介護支援事業所

ケアプランオフィス 三滝ひまわり

コスモス園居宅介護支援事業所

コスモス園天応居宅介護支援事業所

サンキ・ウエルビィ株式会社 介護センター安芸

サンキ・ウエルビィ株式会社 介護センター中央

小規模多機能型居宅介護海田じらく房

小規模多機能ホーム府中みどり園有限会社福祉計画書所

生協ひろしま居宅介護支援事業所

瀬野川居宅介護支援事業所

泰山会居宅介護支援事業所

たかの橋居宅介護支援事業所

でじま・くにくさ居宅介護支援事業所

十日市居宅介護支援事業所

(株)トラスティサポート サポートセンターとらいあんぐる

NTTグループケアポート広島居宅介護支援事業所

ニチイケアセンター江波

ニチイケアセンターさか

ニチイケアセンター矢賀

ニックス東居宅介護支援事業所

ニックス南居宅介護支援事業所

のぞみ整形外科ヒロシマ居宅介護支援事業所

はたのりハビリ居宅介護支援事業所

はたのりハビリふるさと居宅介護支援事業所

パナソニックエイジフリーケアセンター広島中央・ケアマネジメント

ハーモニーケアプランセンター

ひびき居宅介護支援事業所

ひらまつ居宅介護支援事業所

広島県看護協会居宅介護支援事業所「ひろしま」

広島市南区役所厚生部福祉課

広島和光園居宅介護支援事業所

古川医院居宅介護支援事業所

古川病院居宅介護支援事業所

有限会社福祉計画研究所

株式会社ベネッセスタイルケア ベネッセ介護センター広島

まごころネット居宅介護支援事業所

メリィケアプランセンター西風新都

悠悠タウン基町小規模多機能型居宅介護支援事業所

洋光台バラ苑居宅介護支援事業所

大学病院

岡山大学病院

九州歯科大学病院
昭和大学歯科病院
東京科学大学病院

広島大学病院
福岡歯科大学医科歯科総合病院

高齢者施設

介護付有料老人ホーム 隣ご縁熊野
介護老人保健施設 あき
介護老人保健施設 チェリーゴード
介護老人保健施設 はまな荘
介護老人保健施設 陽だまり
介護老人保健施設 洋光台バラ苑
グループホーム 丹那の杜
グループホーム 畑賀時計台
グループホーム はたのりハビリ
ケアハウス安芸
ケアハウス エバーグリーンホーム
ケアポート広島 グループホーム
サービス付き高齢者向け住宅 アルファリビング広島観音本町
サービス付き高齢者向け住宅 カーピルズ広島矢野

サービス付き高齢者向け住宅 ケアビレッジなごみ
サービス付き高齢者向け住宅 シルバーホームはたのりハビリ
サービス付き高齢者向け住宅 はたのりハビリふるさと別館
サービス付き高齢者向け住宅 メリィデイズ
住宅型有料老人ホーム スープ矢野
障害者支援施設 時計台
小規模多機能型居宅介護 響
小規模多機能ホーム 府中みどり園
グループホームの・くにくさ グループホーム
短期入所生活介護ショートステイ はたのりハビリ
短期入所生活介護 チェリーゴード
短期入所生活介護 筆の都ショートステイ
短期入所生活介護 レスパイトケア住マイル安芸
特別養護老人ホーム エバーグリーンホーム
特別養護老人ホーム 光清苑
特別養護老人ホーム 瀬野川ホーム

特別養護老人ホーム たかね荘
特別養護老人ホーム たかね荘こやうら
特別養護老人ホーム チェリーゴード
特別養護老人ホーム 広島八景園
特別養護老人ホーム やだけの里
特別養護老人ホーム IGLナーシングホーム信愛の郷
ホームホスピス ゆずの家
有料老人ホーム チェリーゴード
有料老人ホーム 広島八景園
有料老人ホーム ほほえみ安芸路
有料老人ホーム ほほえみ矢野
有料老人ホーム住宅型 灯台
養護老人ホーム 瀬野川ホーム
老人保健施設 はたのりハビリ
老人保健施設 りは・くにくさ

生活介護事業所

あべにーる南観音

口腔保健センター

広島口腔保健センター

障がい者施設

時計台障害者支援施設
ユキ園



地域包括支援センター

海田町地域包括支援センター
広島市阿戸・矢野地域包括支援センター
熊野町地域包括支援センター
坂町地域包括支援センター
広島市瀬野川東地域包括支援センター
瀬野川船越地域包括支援センター
広島市二葉地域包括支援センター
府中町地域包括支援センター



学会発表・講演活動 (2025年)

岡本 佳明 (歯科医師)

2025年 2月 1日	主催・学会名	高知県歯科医師会	演題	地域支援型多機能歯科
2025年 6月14日	主催・学会名	社会歯科学会	演題	2035年までに実現すべき障害者歯科医療保健政策
2025年7月19・20日	主催・学会名	歯科医療管理学会	演題	シンポジウム発表:第66回日本歯科医療管理学会総会&学術大会
2025年 8月30日	主催・学会名	第44回日本歯科医学教育学会総会および学術大会	演題	歯科診療所における歯科医師臨床研修で研修歯科医に伝えたいこと

村田 尚道 (歯科医師)、藤井 葉子・中村 真衣 (管理栄養士)

2025年 8月30日	主催・学会名	日本栄養治療学会 第17回中国四国支部学術集会	演題1	18トリソミー児への摂食外来での対応	演題2	偏食を伴う ASD児への食支援
-------------	--------	-------------------------	-----	--------------------	-----	-----------------

藤井 葉子 (管理栄養士)

※一部抜粋

2025年 5月11日	主催・学会名	ライオン歯科衛生研究所 歯科セミナー	演題	食事でうながす口腔機能の発達支援について ～「たべない」の相談に答えるためのポイント～
2025年 5月14日	主催	令和7年度子ども発達支援講演会 岩手県立療育センター	演題	食に課題のある子どもへの支援について ～食べられないが食べられるにかわる食育～
2025年 6月13日	主催	広島市安佐北区公立保育園研修会	演題	子どもの命を守るために ～口腔機能の発達に応じた食の進め方援助について～
2025年 7月 2日	主催	社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 地域母子保健研修会7「地域栄養活動～妊産婦から子ども～」	演題	発達障害児の食事について
2025年 8月 6日	主催・学会名	第13回全国特別支援学校養護教諭キャリアアップ研修会	演題	発達障害など児童生徒への偏食指導の考え方と具体的な進め方・医療的な配慮
2025年 9月28日	主催	長崎県栄養士会生涯教育研修会	演題	発達障害者の栄養の問題～乳幼児期から青年期も含めて～
2025年10月23日	主催	相模女子大学大学院栄養科学研究科総合栄養科学持論保健栄養領域 特別講義 兼公開講座	演題	発達障害児や食に課題がある児の食べ方の現状と支援について
2025年11月19日	主催	令和7年度第37回福岡県特別支援学校給食研究協議大会	演題	発達障害児の食の特徴と支援とQ&Aお悩みへのアドバイス
2025年12月12日	主催	日本栄養士会2025年度福祉スキルアップ研修会	演題	「児童期の口腔機能の発達について理解する」「子どもの食べる機能に合わせた食事支援について」
2025年12月18日	主催	静岡県立こども病院講演会	演題	偏食、拒食 神経発達症など通常指導では改善しにくいイレギュラーな場合の支援について

中村 真衣 (管理栄養士)

2025年 8月30日	主催	日本栄養治療学会 第17回中国四国支部学術集会	演題	偏食を伴う ASD児への食支援
-------------	----	-------------------------	----	-----------------

福井 美恵 (歯科医師)

2025年11月 2日	主催	第42回 日本障害者歯科学会 総会および学術大会	演題	舌肥大を伴った筋萎縮性側索硬化症患者に対する8年間にわたる口腔管理の1症例
-------------	----	--------------------------	----	---------------------------------------

富永 晋二 (歯科医師)

2025年10月11日	主催	第53回日本歯科麻酔学会学術集会	演題	多剤併用で体動が軽減した 静脈内鎮静法の2症例
2025年11月 1日	主催	第42回 日本障害者歯科学会 総会および学術大会	演題	オンダンセットロンがPONVを抑制した1例

佐々木 虹輔 (歯科医師)

2025年11月 1日	主催	第42回 日本障害者歯科学会 総会および学術大会	演題	経口摂取困難を主訴に来院された患者への多職種連携の取り組み
-------------	----	--------------------------	----	-------------------------------

竹原 幸希 (歯科医師)

2025年11月 2日	主催	第42回 日本障害者歯科学会 総会および学術大会	演題	地域歯科医院における病診連携・診診連携の実態
-------------	----	--------------------------	----	------------------------

佐々木 梨乃 (歯科医師)

2025年11月 1日	主催	第18回日本口腔検査学会	演題	「地域歯科診療所における口腔機能低下症の罹患率と各項目の低下の実態」
-------------	----	--------------	----	------------------------------------

樋山 めぐみ (歯科医師)

2025年 9月30日	主催	厚生労働省 歯科医療提供体制に関する検討会・歯科医師の適切な配置等に関するWG参考人	演題	臨床研修施設として
2025年11月30日	主催	小児在宅歯科医療研究会	演題	地域支援型多機能歯科診療所における小児在宅・障害者歯科医療提供体制の持続可能性への取り組み

林 慶彦 (歯科医師)

2025年11月 2日	主催	第42回 日本障害者歯科学会総会および学術大会	演題	地域開業医における全身麻酔及び静脈内鎮静法を用いた歯科治療の実態調査
-------------	----	-------------------------	----	------------------------------------

ACTIVITY REPORT 活動報告

未来の歯科医療を創る

01 ひまわり歯科の臨床研修教育と地域への貢献



医療法人社団湧泉会ひまわり歯科(以下、当院)は、厚生労働省の「歯科医師臨床研修の基本理念」に基づき、単独型および管理型臨床研修施設として重要な役割を担っています。私たちの使命は、高度な技術伝承に留まらず、歯科医療の社会的役割を深く認識し、頻度の高い疾患に適切に対応できる「基本的な診療能力」を備えた歯科医師を育成することにあります。地方における教育拠点を確保することは地域医療の質に直結するため、当院は全国から学生が集まる魅力ある研修環境の構築に注力しています。

1 質の高い歯科医師を育てる「魅力あるカリキュラム」

研修医の主体性を尊重しつつ、厚生労働省の目標に沿った詳細な学習計画を構築しています。

技能習得の可視化「ステップ帳」

各単元の一般目標(GIO)や個別行動目標(SBOs)を定めた独自の「ステップ帳」を導入。進捗を常に掲示し、指導医と共に課題をリアルタイムで共有しています。

三側面の評価

例えば浸潤麻酔では、手技だけでなく薬剤の知識(知識領域)、無痛のな施術(技能領域)、患者への配慮(態度領域)までを包括的に評価し、バランスの取れた医療人を育てます。

2 科学的根拠と振り返りを重視する教育手法

ICT活用とフィードバック

院内共有ツールに症例写真を記録し、多角的なアドバイスを受けられる体制を整えています。

SEA(構造的振り返り)

診療後にはSEAを導入し、事象の背景や学びを深く考察することで臨床推論能力を高めます。

客観的評価(OSCE)

定期的な実技試験やZOOMを用いた遠隔面接試験を行い、客観的な基準で到達度を把握します。



3 「チーム教育」による多面的な指導体制

指導医一人に任せず、医院全体で育てる体制が当院の最大の特徴です。

360度多面評価

歯科医師以外の多職種(歯科衛生士、受付、管理栄養士、メンタルコンサルタント等)が評価に加わります。これにより、技術のみならずプロフェッショナリズムや対人能力を養います。

屋根瓦方式と精神的ケア

先輩歯科医師による実務指導に加え、メンタルコンサルタントを配置。第三者との面談を通じ、悩みや目標を共有できる環境を整えています。

4 超高齢社会に 대응する「全身をみる」視点

口腔内だけでなく、医科歯科・多職種連携や訪問歯科診療を通じ、摂食嚥下リハビリテーションなど地域生活を支える「全身管理のできる歯科医師」を育成します。

5 研修医教育が医院にもたらす価値

教育は指導医自身の学び直しとなり、若い感性は医院に活気を与えます。明確な評価基準(ルーブリック)の共有は、診療体制の改善や患者満足度の向上にも繋がっています。

ひまわり歯科は、研修医が「ここで学んでよかった」と心から思える場所であり続けるため、常に改善を止めません。また、指導歯科医講習会を主催するなど、指導者養成にも尽力しています。私たちはこれからも質の高い歯科医師育成を通じ、地域住民の皆様へ安心で高度な歯科医療を提供し続けて参ります。

厚生労働省「歯科医療提供体制等に関する検討会」にて 樋山めぐみ理事が参考人として意見陳述を行いました

02 歯科医療提供体制に関する検討会への参考人としての参加

～歯科医師臨床研修施設の現場から、2040年を見据えた人材育成と地域偏在の解消を提言～

2025年9月30日、厚生労働省が開催した「第11回歯科医療提供体制等に関する検討会」および「第2回歯科医師の適切な配置等に関するワーキンググループ」の合同会議において、当法人の理事・副院長であり指導歯科医を務める樋山めぐみが、参考人として意見陳述を行いました。



発表の背景 | 歯科医師の偏在と研修施設の役割

現在、国レベルでの課題として「歯科医師の地域偏在（都市部への集中と地方での不足）」や、若手歯科医師の進路選択における情報のミスマッチが挙げられています。ひまわり歯科は、広島県安芸郡海田町という郊外に位置しながら、「地域支援型多機能歯科診療所（いわゆる1.5次歯科診療所）」として、年間約10名前後の研修歯科医を受け入れ、約40名の歯科医師を含む総勢約140名の多職種スタッフが在籍する大規模な教育機関としての側面を持っています。今回、当院が長年取り組んできた臨床研修の体制や、地域医療への貢献がモデルケースとして注目され、現場の声を届ける機会をいただきました。

発表の主なポイント

① 地方・郊外での臨床研修の意義

樋山理事は、学生や研修医が「地元に戻りたい」と考えていても、適切な研修施設の情報が届いていない現状を指摘しました。当院では、単独型・管理型臨床研修施設として、これまでに延べ54名の研修歯科医を受け入れ、その多くが研修後に地元（広島県内外の地方部含む）に戻り、地域医療の担い手として活躍している実績を報告しました。

② 山間部での歯科医療研修（邑南町との連携）

当院の特徴的な取り組みとして、島根県邑南町（おおなんちょう）での「山間部歯科医療研修」を紹介しました。研修医が実際に過疎地域の歯科診療所や障がい者施設を訪れ、移動手段の欠如や歯科医師の高齢化といった「地域のリアルな課題」を肌で感じる機会を提供しています。これは、単なる技術習得にとどまらず、将来の日本の医療課題（2040年問題）を自分事として捉えるための重要な教育プログラムです。

③ 女性歯科医師のキャリア支援と多様性

当院在籍の歯科医師の約半数が女性であることから、院内託児所の整備や、多様なライフステージにある女性歯科医師がロールモデルとして存在することの重要性を強調しました。女性歯科医師がキャリアを諦めず、長く働き続けられる環境を作ることが、結果として歯科医師不足の解消にもつながると提言しました。

④ メンタルサポートとチーム医療

研修医のメンタルヘルスケアとして、メンタルコンサルタントによる定期面談を実施しているほか、多職種連携（チーム医療）を通じて、専門性だけでなく「社会人としての成長」を促す独自の「プロフェッショナルリズム教育」についても共有しました。

今後の展望

今回の発表を通じ、当院のような「地域支援型多機能歯科診療所」が臨床研修の受け皿となり、地方に歯科医師を輩出するハブとなることで、歯科医師の地域偏在の緩和に貢献できる可能性を示しました。ひまわり歯科は今後も、「教育機関」としての使命を果たし、次世代を担う歯科医師と共に、患者様と地域の幸せを守る医療提供体制の構築にチャレンジし続けてまいります。

島根県邑南町にて「巡回歯科診療」のサポートを開始

03 邑南町での取り組み

～地元の歯科医師と連携し、医療が届きにくい場所へ「安心」を届ける～

当院が2022年より連携を深めてきた島根県邑南町(おおなんちょう)での活動が、2025年、新たなフェーズを迎えました。これまで実施してきた研修医による健診補助や意見交換に加え、いよいよ「巡回歯科診療」への人的サポートが本格的にスタートしました。

巡回診療サポートの第一歩

2025年、邑南町にて実施された巡回歯科診療に、当院から樋山めぐみ理事と歯科衛生士2名の計3名がサポートスタッフとして参加しました。記念すべき第一回目は、3名の患者様の診療を行いました。当日は、過疎地域における医療確保のモデルケースとして注目を集め、島根県のNHKによるテレビ取材も入るなど、地域社会からの期待の大きさを肌で感じる一日となりました。

背景にある「地域のリアルな課題」

当院では以前より、研修医が邑南町を訪れる「山間部歯科医療研修」を行ってきました。その中で見てきたのは、歯科診療所が町内にわずか3軒しかなく(うち2軒は60代以上の先生)、移動手段を持たない高齢者や障がい者の方が歯科へアクセスすることが極めて困難であるという現実でした。「歯科医師不足」や「2040年問題」といった言葉だけでは片付けられない、目の前の切実なニーズに応えるため、地元の歯科医療を支える富永歯科医師が中心となって行う巡回診療に、当院がチームとして協力する体制を構築しました。

今後の展開

今後は月2回ほどのペースで、富永歯科医師が行う巡回診療に当院のスタッフも継続して参加する予定です。この取り組みは、地域の方々に歯科医療を届ける社会貢献であると同時に、当院のスタッフにとっても、都市部の診療室では経験できない「訪問・巡回診療の現場」を学び、地域医療の在り方を深く考える貴重な機会となります。ひまわり歯科はこれからも、地域や県境を越えた連携を通じて、誰もが安心して歯科医療を受けられる社会づくりに貢献してまいります。



04 訪問診療について

訪問歯科診療は「通院困難な方へ」「生活の場において」「生活環境に合わせて」必要な医療・ケアを提供するものです。訪問診療ならではの制約はありますが、できるだけ外来診療と同じような質の医療・ケアが行えるようにしています。

当院の訪問部は歯科医師13名、歯科衛生士6名が関わり、訪問車5台を有し、毎月300名以上の患者様のお住まいの場所にうかがい、歯科診療所に通院できない方でも質の高い口腔健康管理がなされるように支援しています。当院の訪問部は摂食嚥下の専門医が在籍し、摂食嚥下リハビリテーションを盛んに行っていることが特徴の一つです。

年々、高齢化の進行とともに訪問歯科診療の依頼は増加しています。日々の生活の中で何よりも口腔の悩みや苦痛を訴える方もいらっしゃいます。私たちが関わることで少しでも「食べる」「話す」・そして自分らしく「生きる」を支えられるようにしていきたいと考えています。

2025年は特別養護老人ホームから新規介入の依頼があり、新たな取り組みが始まりました。総勢90名程度の利用者さんに対して一挙に継続的な関わりを持つことは大変ですが、当該施設の方と密に連携をとり、どうすればうまくいくか体制を整えていきました。

また、2025年は特に院外での講演会活動も盛んに行いました。多職種勉強会にて「介護現場で今必要な口腔衛生と機能管理について」という内容で臨床現場で用いる口腔機能の検査機器や嚥下内視鏡検査の実演も交えて話したり、「介護現場における口腔衛生管理体制の構築方法について」という内容で介護現場で求められる口腔管理の体制・方法について詳しく解説したりと、摂食嚥下や口腔機能に関する講演会を計4回講演しました。他に、主任介護支援専門員ミーティングにおいて「介護現場で考える口腔健康管理」という内容で高齢者におけるフレイルとオーラルフレイルの関わりを中心に講演しました。いずれの講演会においても、訪問歯科診療によって口腔の衛生状態を保つというのはもちろんのこと、口腔の機能を保つことで健康寿命を延伸し生き生きと生活できるようになることを伝えられたと思っています。

今後訪問部としては、①業務のデジタル化・効率化の推進、②AIを用いた訪問ルート最適化と装備の軽量化による移動負担の軽減、③訪問先施設との更なる連携による歯科介入の効果の最大化について取り組んでいこうとしています。これからも地域の方々の「食べる」「話す」「生きる」を支える地域医療の一員として前に向かって進んでいきます。



ひまわり歯科の「人」

岩井 三賀

広島たいよう歯科衛生士専門学校 副校長
歯科衛生士／幼稚園教諭／保育士



略 歴	入職前	幼稚園教諭
	2013年	医療法人社団湧泉会 歯科助手として入職
	2020年3月	歯科衛生士資格の取得
	2021年	ひまわり歯科 外来部長 歯科衛生士統括部長
	2026年	医療法人社団湧泉会広島たいよう歯科衛生士専門学校 副校長 就任

未来の“健康づくり”を支える、人と医療をつなぐ存在

私たちの健康は、「食べる」「話す」「呼吸する」といった日常の営みによって支えられています。その基盤となる口腔の健康を専門的に守る存在が、歯科衛生士です。

私は幼稚園教諭としてキャリアをスタートし、子どもの成長や発育に向き合う仕事に携わってきました。出産・子育てを経験する中で、託児所のある環境に魅力を感じ、医療法人社団湧泉会が運営するひまわり歯科へ再就職。歯科助手・保育士として医療現場に立つ中で、より専門的に人の健康を支えたいという想いから、歯科衛生士を志しました。

仕事と家庭を両立しながら専門学校で学び資格を取得後は、幼児教育と歯科医療の双方の経験を活かし、子どもの発育支援や予防を重視した歯科医療に取り組んできました。臨床経験を重ねる中で、歯科衛生士の専門性と役割が、地域医療においてますます重要になっていることを強く実感しています。

現在は、広島たいよう歯科衛生士専門学校 副校長として、教育の立場から次世代の歯科衛生士育成に携わっています。現場で本当に求められる知識や技術、患者さんと向き合う姿勢を伝えることを大切に、学生一人ひとりが自分らしいキャリアを描けるよう支援しています。

また、ひまわり歯科では相談役として、これまで培ってきた臨床および人材育成の経験を活かし、診療の質、スタッフの成長、患者さんの安心感がつながる医療の実現に向けた助言と支援を行っています。

広島たいよう歯科衛生士学校 設立について —教育と医療現場をつなぐ、新たな学びのかたち—

2027年4月、広島たいよう歯科衛生士専門学校は開校を予定しています。それに先立ち、2026年1月よりオープンキャンパスを開始し、地域に開かれた学びの場として準備を進めております。

本校は、午前中授業のみという柔軟な授業スタイルを採用し、子育て中の方や社会人の方など、多様なライフステージにある学習者が無理なく学べる環境を整えています。学び直しやキャリアチェンジを目指す方にとっても、現実的で継続しやすい教育体制です。

本校の最大の特長は、教育と医療現場のリアルが日常的につながっていることです。教員はすべて同法人の医療現場で活躍するスタッフが担い、理念・技術・指導方針に一貫性を持たせています。

現場で求められている知識や技術、患者対応の実際を反映した実践ベースの教育カリキュラムにより、学生は学んだことをすぐに現場で活かせる力を身につけていきます。また、少人数制による細やかな指導を通して、一人ひとりの理解度や成長に寄り添う教育を大切にしています。

設立の背景と目的 —2040年問題を見据えて—

本校設立の背景には、2040年問題を見据えた強い課題意識があります。高齢化がさらに進む地域社会において、口腔の健康を支える歯科衛生士の役割は、今後ますます重要性を増していきます。私たちは、単に資格取得を目指す教育ではなく、地域医療を支え続けることのできる、歯科衛生士国家資格を有した人材の育成を目的としています。現場を知り、地域を知り、人に寄り添える歯科衛生士を育てること。それが、これからの医療と地域社会への私たちの責任であり、未来への投資です。

メッセージ

医療は、人によって支えられ、人によって受け継がれていくものです。湧泉会が大切にしてきた「人を育て、人を守る医療」を次の世代へとつなぐため、今後も教育と支援の立場から歯科医療に貢献していきます。

中矢 遥菜

言語聴覚士

略
歴

入社前 矯正歯科 ことばの教室勤務
児童発達支援事業所勤務

2025年 医療法人社団湧泉会ひまわり歯科 入社



言語聴覚士(ST)は「聴こえ」「ことば」「食べること」「コミュニケーション」の発達を専門にみる医療職です。お子さまがうまく話せているか、伝えたい気持ちを表現できているか、食べる動きに困りがないかなど、成長を幅広くサポートします。

歯科医院での言語聴覚士という「発音の訓練」や「食べ方の指導」をイメージされる方も多いでしょう。確かにそれらも大切な役割ですが、私が最も重視しているのは、お子さま一人ひとりの「発達の全体像」を捉えることです。ことばの遅れ、コミュニケーションの困りごと、集団での関り方など、発音(構音)や摂食嚥下の枠を超えて、お子さまの成長を多角的にサポートしています。歯科医師との連携により、お口の専門的な環境を活かしながら、心と身

体の発達全般に寄り添った支援を行っています。

子どもは日々発達を重ねていきます。特に就学前のお子さまの成長は著しく、短期間でできることが大きく広がっていきます。訓練の中で見られるお子さまの「できた!」という習慣の笑顔や保護者の喜びに立ち会えることは、私にとって大きなやりがいです。

発達には個人差があり、「様子を見るべきか」「専門的な介入が必要か」の判断に迷われることも少なくありません。また「様子見しましょう」と言われ「いつまで様子見をしたらいいいのか?」と迷われることもあるでしょう。安心してご相談いただける環境を整え、ご家族とともに長期的な視点でお子さまの成長を支えていきたいと考えています。





本体サイト



youtube



Instagram

